

# 中学生の「税」についての作文

税務課では、納税意識の高揚を目的に、次代を担う中学生を対象に「税についての作文」を募集しました。この中から最優秀賞である小松島市長賞を受賞された小松島中学校3年の桑内ゆめさんの作文を紹介いたします。

## 『大切な税』

小松島中学校3年

桑内 ゆめ



夏休みに入ったある日、図書館を利用する機会があった。お目当てのコーナーで本を数冊選び、ふと隣の棚に目をやると「税」という文字が並んでいた。興味を持った私は、もっと知りたくなりその中の一冊を手にとった。

税金には、私達に最も身近な消費税以外にも所得税や住

民税、自動車税などたくさんの種類がある。そしてこれらは、国に納める国税と、都道府県に納める地方税に分けられている。さらに、私達の暮らしは、これらの多くの税金によって支えられているのだ。病気や怪我をした人、子供や高齢者、生活に困っている人のために使われたり、道路や橋、公園が造られたり。そして、安全な暮らしを守ってくれている警察や消防。また、私達が毎日勉強している校舎、それに机や椅子。教科書もそうである。私が「税」について興味を持ち、学ぶきっかけとなった、たくさんの本がある図書館も、すべて税金で成り立っているのである。こんな身近な所で、こんなにも多く

の税金が使われ、私達の暮らしに密接に関わっていることに改めて感慨深い気持ちになった。

多くの人々の助けとなり、多くの人々の暮らしを支え、豊かにする「税」。「税」は、私達にとって欠かすことのない大切な物であるのだ。

そんな大切な「税」を私達は正しく使うことが大切だと思う。なぜなら、税金は大切なお金であるから。だからこそ、人々を公平にしていかなければならないと切実に思った。

また、現在の日本が抱えている問題点の一つに、少子高齢化というものがある。お年寄りが増え、働く若い人が年々減少しているという現実。働く人が少なくなっていくということは、単純に考えてみても、税金による収入が減り、人々が十分な社会生活を送るのが難しくなっていくということだ。そのようなことも私達は今後、真剣に考えて行動

に移し、対策を練っていかなければならぬと思う。

税金は、人間が社会で毎日、より良く生活するためにほんとうしても必要なお金だ。一人ひとりが、それぞれの立場でしっかり考え、共に助け合い、納税していくことが大切だと思う。

私は今、中学生で税金を納める立場ではない。税金を使わせてもらっている立場である。今、私が出来ることがは、それを十分に活用することではないだろうか。たくさん大人の達が一生懸命仕事をして、納めてくれてる税金。そのお金を無駄にしたくない。無駄にしてはいけないと心から思うからだ。将来、私も納税者となる。一生懸命働き、人々のため、また、自分のために、社会のために、きちんと義務を果たすことの出来る大人になりたいと強く思った。そして、それが、本当に大人になったということの意味するのではないかと思う。

平成30年度の「税についての作文」優秀作品の表彰を受けた方は次のとおりです。(敬称略)

### 【小松島市長賞】

小松島中学校3年 桑内 ゆめ

### 【審査員特別賞】

小松島中学校3年 黒田 凜

小松島南中学校2年 樫本 歩佳

### 【入選】

小松島中学校3年 茨木 拓行

小松島中学校3年 佐々木利咲

### 【入選】

小松島中学校3年 森岡 功至

小松島南中学校2年 小川恵里佳

小松島南中学校2年 西 智生

### 【佳作】

小松島中学校3年 一柳明日菜

小松島中学校3年 手束 愛華

小松島中学校3年 照本 莉子

### 【佳作】

小松島中学校3年 長尾 美咲

小松島中学校3年 矢根 花音

小松島南中学校2年 高橋 愛和

小松島南中学校2年 前川 楓奈

小松島南中学校2年 松田 莉子